



認定NPO法人
ココレオの森

〒562-0032 箕面市小野原西6-15-31
TEL/FAX 072-735-7676
メール info@cokreono-mori.com
WEB <https://cokreono-mori.com>



2024

年次報告書

ANNUAL REPORT



挑戦がカタチに、ともにつくるミライへ

ごあいさつ

みなさま、さまざまなカタチでコクレオの森と出会い、かかわっていただき、本当にありがとうございます。2024年度は、コクレオの森にとって、念願が実を結んだ年でした。7年ほど前から一条校（私立学校）を目指して、廃校を探し交渉を続けてきたことが、「学校法人あけぼの学園 六瀬ほしのさと小学校（仮称）」の協力法人として、ようやく具体的に動き出すことになりました。約25年前、「大阪に新しい学校を創りたい」とスタートした団体が、みなさまと出会い、一つひとつを積み重ねてくれたおかげで、ここまでやってくることができました。箕面こどもの森学園、黒川里山センター、六瀬ほしのさと小学校（仮称）今後も、それぞれの場所を、みなさまと「ともにつくる」ことを目指していければと思います。ぜひ、いろんな機会に足をお運びください。みなさまとお会いできることを楽しみにしています。

NPO法人 コクレオの森 代表理事 藤田 美保

こどもの森
入学と進級を祝う会



6月 旧六瀬中学校跡地活用事業に応募



9月：旧六瀬中学校跡地活用事業
優先交渉事業者選定される



おとなの森
1月教育カフェが
97回目に



こどもの森
自分も人も大切にワークショップ

11月 新しい学校の名前を
「六瀬ほしのさと小学校」に



3月
六瀬ほしのさと小学校（仮称）
兵庫県私立学校審議会に諮問される



こどもの森 卒業を祝う会



2024.4



黒川里山センター オープニングセレモニー

指定管理2年目となる黒川里山センターは、新棟がオープンし、南北棟は7月から耐震改修工事に入りました。



おとなの森 学び場コーディネーターManabeeプログラム

学びの場をつくりたい大人向けプログラム Manabeeは8期目、学びの本質をともに探究しました。



黒川 里山塾 ちまきづくり

こそだての森 子育てカフェ&BAR

土曜日のリアル開催と木曜日夜のオンライン開催に場をひろげ子育てをアップデートする機会に



黒川 里山塾・里山林

地域の方々に講師を迎えた里山講座や、新しく「里山林」の講座では外部団体と協力してプログラムを実施しました。みんな農園やみんな食堂など、地域の人の協力を得て開催できました。

2025.3



2024年度活動報告

こどもの森

KODOMONO MORI

今年度は、小学部が21年目、中学部が10年目を迎え、68名の子どもたちと総勢17名のスタッフ体制でスタートしました。

子どもたちの成長をスタッフと保護者が同じ目線で見守るため、今年は「自分も人も大切にする」ワークショップを実施し、大切な価値観を共有しました。活動面では、低学年の2度のお泊まり会や、高学年の修学旅行、中学部の海外研修など、各クラスで共に学びを深める旅を実施しました。特に中学部の研修旅行は、生徒たちがプログラムから資金集めまで自ら企画し、旅で得た学びと感謝を伝える報告会を開催しました。これらの活動は、子どもたち一人ひとりの「やりたい」気持ちを大切にする学びの象徴です。これらの活動を通じて、子どもたちは確かな体験を通して自立心と協調性、そして主体性を育み、「共に生きる」力を身につけています。



低学年クラス

2024年度と言えば、年に2度のおとまり会とニホントカゲ！おとまり会では、尼崎城、きしわだ自然資料館、岸和田城、ニフレルへ。テーマでは、ニホントカゲを飼育しながら学びました。ニホントカゲの生態についてだけでなく、生き物を飼うこと、小さな命への責任についてたくさん考え、意見を出し合い、聴き合いながら何度も話し合いを重ねました。



高学年クラス

過去最大の25名となりました。やりたいことへの想いが強い人が多く、修学旅行の話し合いではなかなか案がまとまりませんでした。時にはぶつかりながらも納得いくまで話し合い、ぎりぎりですが無事に修学旅行に行くことができました。3学期にはお泊まり会も企画し、みんなのやりたいことを実行するエネルギーのあるクラスでした。



自分も人も大切にワークショップ



学校には多様な人が集まり、時には子どもたち同士でのトラブルが起こるときもあります。そんなトラブルがあったときに「トラブルをどう見るか？」「スタッフや保護者はどう在るか？」ということが学校の文化を育てていく上でとても重要です。自分たちの見方・在り方について対話する「自分も人も大切にするWS」を今年度から始めました。保護者の人からは「この場があって良かった」など想いが溢れる感想を多くいただきました。



中学部クラス

4月に6名の新入生が来ました！
5月には23年度から準備を重ねていた、ウッドテラス作り&図書室改装がスタート！

中学部の人以外にもたくさんの人に協力してもらい、素敵な場所が完成しました。9月には3年連続となる中学部の文化祭を開催。12月の研修旅行はマレーシアへ。CFFジャパンという団体に協力してもらい、地元の学校との交流、児童養護施設の訪問、ホームステイなどの体験をしました。

新刊発行 10月発売決定！

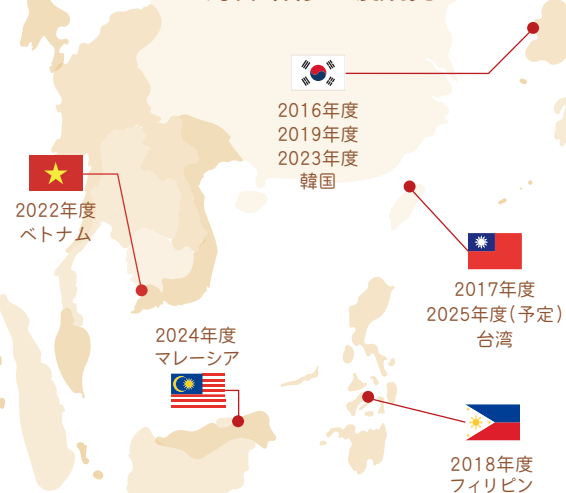
自分も人も大切に
学校の12ヶ月
箕面こどもの森学園の実践から
Amazonにて発売！



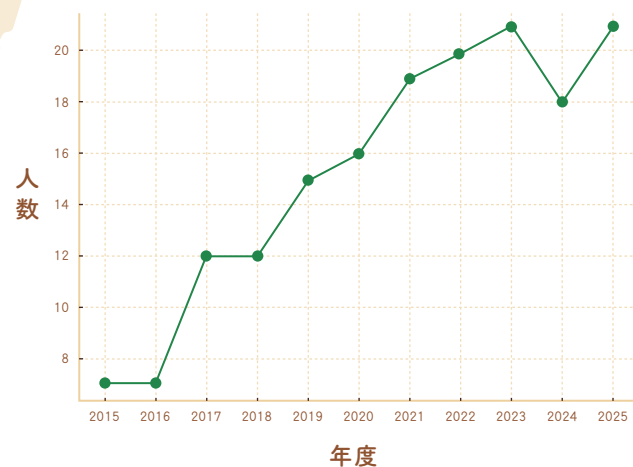
10th こどもの森中学部 Anniversary

2015年4月に開設された中学部は、今年で10周年を迎えました。この10年間を振り返り、当時の生徒、スタッフ、保護者のみなさまからいただいたメッセージをご紹介します。

海外研修の渡航先



生徒数の推移



10年間中学部を支え続けたスタッフJUN

当時5年生だった子どもとその保護者の想いがきっかけで始まった中学部開設。関わる人たちが本気で行動したからこそ実現した奇跡でした。その想いを引き継ぎ、形を変えながら学び続け、当時の想定を超える21名が在籍する学び場になりました。こどもの森の学びを続けたい人はもちろん、中学部から新たに入学し、素敵な成長を遂げた人も多くいることに確かな価値を感じています。共に創ってきていただき、ありがとうございます。



元スタッフ
れなさん



卒業生
るっち



元保護者
長井さん

卒業生と会うたびに、一人ひとりが描いたいろんな形の「学ぶと生きるをデザインする」の未来を見せてもらっている気がします。10年間、たくさんの手探りと対話とたっぷり自分を見つめる時間。今までを紡ぎつないできた子どもたち、スタッフ、保護者のみなさんに心からの感謝とおめでとうを贈ります。

コクレオの森 10周年おめでとうございます！木工プロジェクトや海外での体験が今も心に残っています。本当に楽しくて貴重な時間でした。これからも素敵な学校でいてください！

中学部 10周年、おめでとうございます。何もなかったあの日からの一歩一歩が、どれほど多くの人の希望になったか…。その挑戦があったからこそ、今、娘達も毎日キラキラしてます。改めて、出会えてよかった！心から、ありがとう。



卒業生インタビュープロジェクト

このインタビューでは、こどもの森の卒業生たちが「現在何をして、何を考え、これからどのように人生を設計しようとしているのか」を知ることで、こどもの森が提供する教育の社会的価値を再確認することを目的としています。右のQRコードより記事をご覧ください。



おとなの森

OTONA-NO MORI

もりラボ

2024年度は、「おとなのかずの不思議」「バリ島スタディツアー オンライン報告会」「おとな哲学カフェ(学カって何?)・(家族と責任)」「サティッシュ先生の夢みる大学読書会」を実施しました。もりラボサークルのコーラス部「コクレオン」は、懇親会や新年会で歌いました。練習日数が少ない中でも本番に強く、楽しく歌えました。



ミライの森

MIRAI-NO MORI

コクレオシェア

学びの場やオルタナティブスクールを創りたい人のためのコミュニティを運営。事業内容を見直し、「民主的な学び場を増やす」ことを掲げ、コクレオの森のエッセンスを共有する意味で「コクレオシェア」に名称変更しました。個人会員14名、団体会員8団体にご参加いただき、学習会や交流会、メンター相談を実施し、活動の輪を広げました。

オンライン交流会

- 2024.7.21 児島あやさん「枚方こどもの舎学園」
- 2024.11.16 永谷真弓さん「自由学舎EUREKA (富山ハッピースクールプロジェクト)」
- 2025.3.28 若松和子さん「オルタナティブスクールこども」

教育カフェ

- 2024.9.8 第95回 中川綾二さん & 石田竜士さん (手話エンターテインメント発信団oioi)
- 2024.10.12 第96回 「はっぴーの家ろっけん」視察ツアー
- 2025.1.11 第97回 トルガー・エネビシさん (箕面市国際交流協会/コムカフェ)

2025年
ついに
100回!

学び場コーディネーター Manabeeプログラム

8期目 信頼の中で育ち合う



こそだての森

KOSODATE-NO MORI

つばめ

2023年度に引き続き、夏のクラス「つばめ」を開催しました。こどもの森に通う人や、里山スクールに通う人が混ざり合い、学習やプロジェクト、クッキングや流しそめん、ミニ運動会などのプログラムを行いました。いつもと違うメンバーで話し合い、活動する中で、新しい繋がりができたり、初めてのことに挑戦したりする時間になりました。

子育てカフェ&BAR

- シーズン1 「子どもの自己肯定感を育む」
- シーズン2 「幸せな親子関係を育む」
- シーズン3 「わたしの自己肯定感を育む」



学習会

- 2024.6.1 第7回「ともにつくる中学部～開設と10年間～」箕面こどもの森学園 校長 佐野純
- 2024.8.25 第8回「箕面こどもの森学園の教育」箕面こどもの森学園 スタッフ 矢吹卓也
- 2025.2.1 第9回「主要カリキュラム・プロジェクト 6年の成果と課題」あいち惟の森 河井妃奈さん

新棟オープン

2024年4月、避難所機能を兼ね備えた新棟がオープンしました。

木材をふんだんに使った温かみのある内装と、里山の風景を一望できる大きな窓が特徴です。これからも里山の魅力を発信し、次世代に自然の大切さを伝える場として活用していきます。ハイキングの休憩や貸室の利用、イベントへの参加など、ぜひお立ち寄りください。



くろかわさとやまセンター

KUROKAWA SATOYAMA CENTER



KUROKAWA SATOYAMA CENTER

黒川里山センター



小中学生向け里山スクール 風・泉

2024年度の里山スクールは、南北棟の改修工事に伴いさまざまな場所で活動をしてきました。知明湖キャンプ場、能勢、新瀧公民館など、そのそれぞれに魅力があり、自然があります。知明湖キャンプ場の青空の下での木工の時間、能勢の川の気持ちよさ、新瀧公民館の裏の竹林の涼しさは自然のクーラーのようでした。

新瀧公民館でのアトリエは、ちょっと手狭で材料も限られていましたが、それでもそれぞれに、折り紙をつなげてみたり、イラストを描いてみたり、木を削ってみたり、工夫して自分の“すき”に向かっていました。ここでの体験が、それぞれの子ども時代の1ページに自分だけの素敵な彩を付け加えてくれることを願っています。

黒川を知るイベント

ちまき・みそ・こんにゃくなどの郷土料理づくり、黒川ダリア園とのコラボによるフラワーアレンジメント体験、川の生きもの観察会、里山林づくり、マルシェなど、幅広い世代が参加できる多彩なイベントを開催しました。楽しみながら黒川の自然や文化に触れ、四季の移ろいを感じられる機会となりました。

公式HPはこちら



学校法人あけぼの学園
六瀬ほしのさと小学校
Mutsu Hashinosato Primary School
(許可申請中)



新たな挑戦のスタート 具体化した学校づくりプロジェクト

- 2021年12月：「里山地域に子どもをまんなかにおく小学校を、学校法人で設立しよう!」という想いから、このプロジェクトは走り出しました。
- その1年後：映画『夢みる小学校』の上映会で、学校法人あけぼの学園と出会いました。それ以来、話し合いながらともに準備を重ねてきました。
- 2024年6月：応募した「学校を中心とする住み続けられるまちづくり事業」が猪名川町に採択され、学校法人あけぼの学園が旧六瀬中学校の優先交渉事業者に決定。
- 2024年9月：猪名川町・あけぼの学園・コクレオの森の三者で、基本協定を結びました。
- 2024年11月：学校名を考えることに。満天の星が瞬く六瀬の里山、この地の美しさと、子どもも大人も星のように一人ひとりが大切な存在であるという想いを込めて、「六瀬ほしのさと小学校」と名付けました。今年に入り、先進的な学校を訪ね、カリキュラムづくりも始動。
- 2025年3月：猪名川町の温かなサポートを受け、兵庫県私学審議会第1回目の諮問を受けることができました。

夢は、いま、確かな方向へと近づいています。

みんなで創るミライの学校プロジェクトイベント

- 第14回 9月20日 参加者 103名
「自分らしさを生きる 私立学校を創る理由」
学校法人あけぼの学園 あけぼの幼稚園 園長 安家匠さん
- 第15回 12月13日 参加者 66名
「市民で学校を創ろうと思ったわけ〜コクレオの森が目指してきたもの〜」
NPO法人コクレオの森 前代表理事 辻正矩さん
- 第16回 2月14日 参加者 47名
「新しく学校を創る 良さと意義とは」
株式会社アソビジ代表取締役/長野県教育委員 中川綾さん

2024年～2025年の活動のまとめ

のべ
支援者数 **208名**

金額 **2,764,300円**
※マンスリー寄付と単発寄付の合計です

公式HPはこちら





コクレオの森
会員数

正会員
174名
賛助会員
167名
団体会員
7団体

コクレオの森
スタッフ数

常勤スタッフ
9名
非常勤スタッフ
14名

箕面
こどもの森学園
在籍者数

小学部
49名
中学部
19名

箕面
こどもの森学園
卒業者数

小学部
83名
中学部
38名

箕面
こどもの森学園
入学希望見学者

77組
一般見学者
153名

コクレオ
イベント年間
参加者数

マナビーの**52**名
もりラボの**76**名
子育てカフェ
の**229**名
教育カフェ
の**48**名

里山センター
イベント年間
参加者数

センター利用者数
7915名
里山塾の**277**名
里山あそびの**99**組
里山スクール風・泉
の**937**名

コクレオの森
講師依頼

派遣回数
17回

目
数字でみる
コクレオの森

2024年度のコクレオの活動を象徴する数字を集めました。
*2025.3 現在

2024年度活動計算書

2024年4月1日～2025年3月31日まで
[税込] (単位:円)

勘定項目		2023年度	2024年度
経常収益	●受取会費	1,208,500	1,128,500 ①
	●受取寄付金	2,689,842	2,243,548 ②
	●受取助成金等	2,165,438	1,560,139 ③
	●事業収益		
	こどもの森	38,457,060	47,121,412 ④
	こそだての森	1,122,380	603,491 ⑤
	おとなの森	1,076,325	513,513 ⑥
	ミライの森	797,766	503,724 ⑦
	子育てひろば	1,358,858	- ⑧
	里山センター(指定管理)	23,029,658	22,518,122 ⑨
	NPO活動に必要な事業	935,703	122,290 ⑩
	●その他収益	3,198,816	146,057
経常収益計		76,040,346	76,460,796
経常費用	●事業費		
	人件費/法定福利費	42,836,690	48,325,545 ⑪
	その他経費		
	事業支出	9,633,652	12,617,155
	期首棚卸高	178,905	260,786
	書籍仕入	143,429	-
	期末棚卸高	△ 260,786	△ 286,327
	会議費	12,114	11,591
	福利厚生費	-	59,080
	消耗品費	-	216,139
	通信運搬費	-	226,845
	旅費交通費	-	79,409
	水道光熱費(事業)	191,403	252,019
	地代 家賃(事業)	783,000	783,000
	減価償却費(事業)	3,879,313	3,879,313
	支払手数料(事業)	598,225	111,810
	支払 利息(事業)	3,441	-
	その他経費計	15,162,696	18,210,820 ⑫
	事業費計	57,999,386	66,536,365
	●管理費		
	人件費	989,865	2,607,342
	その他経費	9,099,233	4,574,472
	管理費計	10,089,098	7,181,814
経常費用計		68,088,484	73,718,179
税引前当期正味財産増減額		7,951,862	2,742,617
法人税、住民税及び事業税		70,000	70,000
当期正味財産増減額		7,881,862	2,672,617
前期繰越正味財産額		95,815,556	103,697,418
次期繰越正味財産額		103,697,418	106,370,035 ⑬

- ① 総会員数 341 名 団体会員 7 団体
- ② このうち、1,689,188 円はマンスリー寄付。前受金とした学校設立に向けた寄付は 21,446,719 円となりました。
- ③ 職員の処遇改善を実施しキャリアアップ助成金の助成を受けました。阪神北☆夢づくり応援事業、ACCU から助成金をいただきました。
- ④ 2024 年度学習費の値上げを実施。生徒数は小学部 49 名、中学部は 19 名でした。
- ⑤ 子育てカフェ、夏の学童の事業収入です。
- ⑥ Manabee プログラム、教育カフェなどの事業収入です。
- ⑦ サスな、講師謝礼の事業収入です。
- ⑧ 豊能町からの業務委託の子育て広場は 2023 年 6 月で事業終了
- ⑨ 川西市里山センター指定管理事業(2 期目) 及び自主事業の事業収入です。
- ⑩ 書籍売上など
- ⑪ 常勤職員 9 名、非常勤職員(専任含む) 14 名の人件費となります。
- ⑫ その他経費には、広告宣伝費、保険料、顧問料、リース料、租税公課などを含みます。
- ⑬ 繰越財産を土台に廃校を使用した新しい学校の設立と、コクレオの森の持続可能な運営のための組織体制づくりを実現させていきます。

※紙面の都合上こちらには掲載できませんでしたが、貸借対照表・資金収支計算書・財産目録は、当法人の WEB サイト (<https://cokreono-mori.com/npo/news.html>) に開示しております。あわせてご覧くださいませ。



事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。又、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。2025 年 6 月 14 日 監事 宮田 伸弘 / 屋代 由佳

2025年度の 主な活動計画



こどもの森

延期されていた体育祭は10月10日（金）に開催予定。高学年クラスのフリーマーケットは、9月29日（月）みのおキューズモール、10月17日（金）北千里diosにて開催します。今年度も、低学年のお泊まり会、高学年の修学旅行、中学部の海外研修旅行を予定しています。

こそだての森

子育てカフェ & BAR：シーズン2は「現実の内面の投影」をテーマに、子どもやパートナーとの関係を通して自分自身の内面を掘り下げていくフェーズに入ります。さらにシーズン3では「自己受容」をテーマに、自分自身の心の平和を取り戻していきます。自分を苦しめてきた思いから解放され、親子でより自由に軽やかに生きていく道を見つけましょう。

おとなの森

100回目指して開催してきた教育カフェ・マラソン、いよいよあと2回でゴールを迎えます。フィナーレは特別バージョンを企画。ぜひ見届けに来てください。manabee プログラムは実践編の共有プログラムづくりに入ります。もりラボ企画イベントも随時募集中！コクレオ会員さんであればどなたでも企画できます。詳しくはお問い合わせください。

ミライの森

2024年度より「サスな」は事業内容を分かりやすくするために「コクレオシェア」に名称変更し、事業メッセージも「民主的な学び場を増やす」としました。会員を募集中です。2025年度も会員での交流会をしたり、コクレオシェアを使って立ち上げて5年になる「このね自由な楽校」から学ぶ学習会を企画しています。

黒川里山センター

秋冬は黒川ダリア園とのコラボ企画や、さつまいも掘り・自然観察会・たき火・植樹・味噌やこんにゃくづくりを予定しています。定期イベントとして、土曜日・日曜日は工作のイベントを実施中！ぜひ遊びにいらしてください！

学校法人あけぼの学園 六瀬ほしのさと小学校（仮称）

開校まで1年間ということで、慌ただしい1年になりそうです。4月～廃校の片付け作業、5月は探究的な私立学校の視察、7月に2回目私学審議会があり、8月に生徒募集と教職員の採用を開始しました。カリキュラム作成、廃校の改修、寄付集め、学校整備など平行して進めながら、2026年4月の開校を目指していきます。



コクレオと、ともにつくる

コクレオの森では、こどもの個性を尊重し、対話のある学びの場を提供します。
さらに教育のミライを創る活動の輪を広めるためにご支援をお願いします。

1 まずは、SNSで活動を知る

Facebook コクレオの森 X @cokreono_mori Instagram cokreono_mori



2 お金で支援する

① 都度寄附

郵便局でのお振込・お振替

郵便振込用紙に必要事項をご記入の上、ご送金ください。
【振替払込】00980-7-232403
【ゆうちょ銀行口座】記号：14020 番号：68190721
【加入者名】NPO 法人コクレオの森

銀行口座へのお振込

ゆうちょ銀行四〇八支店 普通 6819072
口座名：NPO 法人コクレオの森
寄附金引受書をダウンロードし
右のQRよりFAX、または郵送ください



② オンライン寄付サイトからの寄付

1日16円からできるマンスリーサポーター

私立学校の設立に向けて、
マンスリー寄付で継続的な応援をお願いします。



クレジットカードで単発のご寄付

金額3000円～金額を選択して単発のご寄付をしていただけます。「箕面こどもの森学園」が「ミライの学校プロジェクト」をお選び下さい。



3 お買い物をして応援する

商品を購入いただくことで、売上の一部がコクレオの森への寄付となります。

osakacut ツヅクバーム



パン工房～みのり～



4 電気を購入して応援する

テラエナジーの電気に切り替えると
電気使用量の一部がコクレオの森に寄付されます。



5 一緒にミライを創る

個人でも法人でも、「ともにつくる会員」になりませんか？NPO会員に入会していただくと、情報が届きコクレオの森の活動に参加できます。

正会員 ----- 6,000円
賛助会員 ----- 3,000円
団体賛助会員は1万円～



ご支援ありがとうございます。(2025年8月)

このように年次報告書を作成し、皆さまにご報告できるのはご寄付・ご協賛いただいている方々のおかげです。



ご縁はながく、いつまでも..
大阪保険サービス株式会社

